

令和5年度第4回北海道胆振地域公共交通活性化協議会総会 議事概要

日 時 令和5年（2023年）11月28日（火）14時00分～14時50分
場 所 むろらん広域センタービル3階大会議室（一部、Zoomによるオンライン参加）
出席者 別紙出席者名簿のとおり（構成員23名出席）
内 容

議事

- (1) 北海道胆振地域公共交通計画（素案）について
- (2) 今後のスケジュールについて

議事概要

- (1) 日本データサービスより、【資料1-1】から【資料1-4】に基づき説明。
 - ・交通資源の位置づけについて前回総会時点から系統の追加、修正、路線名の変更等を行った。
 - ・広域交通に位置付けていた都市間バスを本庁からの指示により幹線交通に統合した。
 - ・公共交通の課題について6個から5個に統合した。
 - ・基本方針を5個から3個に統合し文言の変更も行った。
 - ・施策・事業について、9個から6個に統合し文言の変更も行った。
 - ・事務局より、北海道胆振地域公共交通計画（素案）本文について説明。
- (2) 計画策定に向けた今後のスケジュールを説明。

【質疑応答】

○有村委員

- ・維持確保の方針について、鉄道・都市間バスに関する記載を当初は削除する案であった中で、各市町からの要望により復活させたと言う説明があったが、地域の幹線交通との接続性を向上させるために各自治体で何ができるのかと考えると、例えば、駅前広場の拡張や情報提供の部分で整合性を保つとか、できることが沢山ある中で残してくれたのは非常に良い。一方で北海道の上位計画に、北海道交通政策総合指針・重点戦略があって施策にシームレス交通戦略があるが、場合によっては、他の振興局の広域計画の中で幹線交通が落ちているのではないか。仮に記載のない計画が他の振興局で作られているのであれば、幹線とラストワンマイルの接続やMaaS、情報の統合化を各階層が担保する事が道全体でできなくなる。北海道の上位計画の整合性を考えると、他振興局の鉄道・都市間バスの記載について確認した方が良い。
- ・2022年2月の大雪時ではJRが不通となったが、都市間バスにより輸送することができたなど、多様性を考えていくことが重要。幹線交通とそこから後の各自治体でできることや接続性を考えると道全体の整合性の意味で他の振興局を確認してほしい。

○事務局・・・本庁と確認しながら調整する。

○むかわ町

- ・素案17ページのむかわ町まちづくり計画前期計画の計画期間は令和7年度までのため、修正をしていただきたい。

※ 議事（1）（2）について承認された。